

週刊 日本医事新報

No. 4758

2015/7/4

7月1週号

p19 特集

耐性菌を出さないための結核診療

- 結核菌検査のポイント(御手洗 聰)
- 結核治療の基本的知識(重藤えり子)
- 結核の治療薬変更が必要な場合とその注意点(吉山 崇)

p1 卷頭

- 外来診断学:肺病変と多関節痛を主訴に受診した64歳男性(生坂政臣ほか)
- プラタナス:めぐりめぐって(松村真司)

p8 NEWS

- 次期改定や総合診療専門医、消費税問題巡り質疑一日医代議員会
- OPINION:長尾和宏の町医者で行こう!!
- 人:増田昌人さん

p37 学術

- Dr.徳田の診断推論講座⑩ 発熱(徳田安春)
- J-CLEAR通信:交絡因子の調整という魔物(谷 明博)
- ヒト・パピローマウイルス・ワクチン関連神経免疫異常症候群の臨床的総括と病態の考察(横田俊平ほか)
- 一週一話:術前体液管理に、もはや点滴は不要である
- 差分解説:*Helicobacter pylori*感染と胃の悪性リンパ腫 他8件

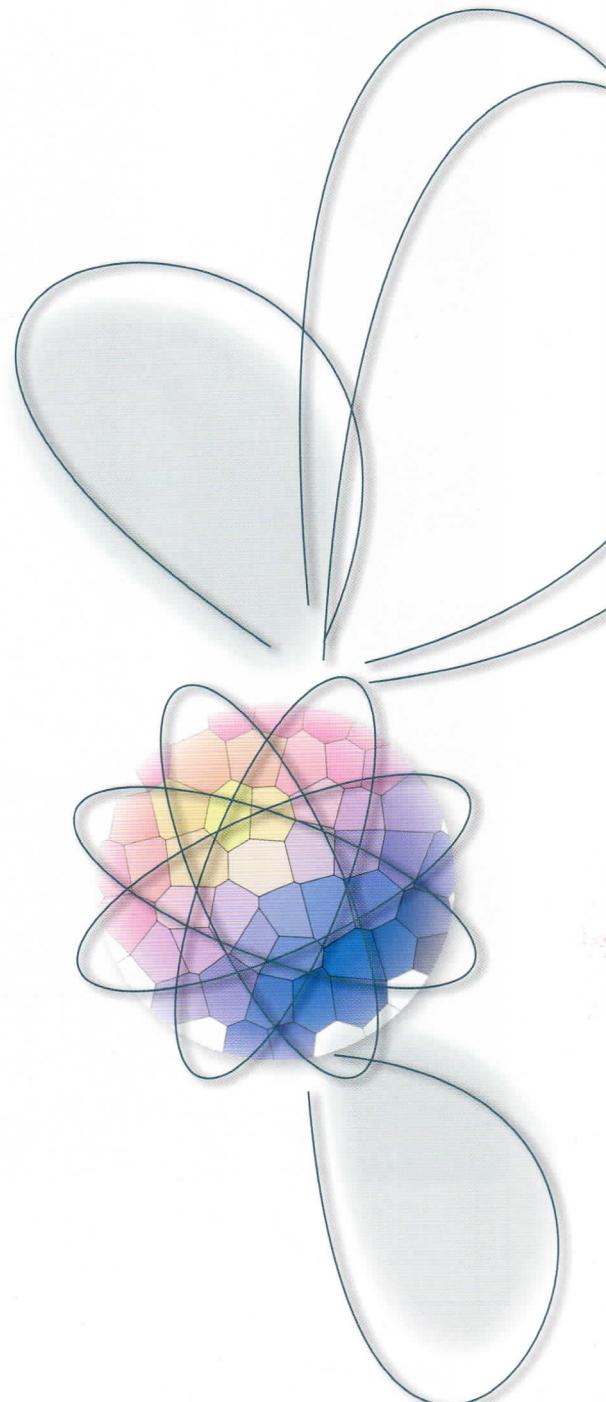
p62 質疑応答

- Pro↔Pro:腎交感神経除神経術の課題と将来性 他4件
- 臨床一般:早朝高血圧患者への対応 他3件

p74 エッセイ・読み物・各種情報

- 小説「群星光芒」 ● ええ加減でいきまっせ!
- 私の一曲(祖父尼 淳) ● 新薬FRONTLINE ● Information
- クロスワードパズル ● 漫画「がんばれ! 猫山先生」

p83 医師求人/医院開業物件/人材紹介/求縁情報



精神病質者(サイコパス)とは

Q 精神病質者(サイコパス)についてご解説下さい。

3 さい。たとえば、チェックリストを用いた適切な診断方法や、脳の画像所見でわかっていることをご教示下さい。
(埼玉県 S)

質疑応答

臨床一般

A 現在のサイコパス概念の雛形をつくった3のはHervey Milton Cleckleyとされています。彼はその書、“The Mask of Sanity(正気の仮面)”¹⁾において、多くの症例を詳細に記載し、分析しました。その後に、Robert D. Hareが発展させて、PCL-R(Psychopathy Checklist-Revised)(表1)²⁾を作成しました。正確な評点にはトレーニングを受けて資格を取る必要があります。

現在の診断基準にみられる類似疾患として、『精神障害の診断と統計マニュアル(DSM)』では反社会性パーソナリティ障害、『疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)』では非社会性パーソナリティ障害が挙げられます。

ただし、サイコパス概念と反社会性および非社会性パーソナリティ障害の概念の間には、決定的な違いがあるとされています。前者では、衝動性や攻撃性などの問題行動に加え、共感性や罪悪感の欠如など、内面的な側面も重視して基準が設けられているのに対して、後者では、問題行動のみを評価対象としています。そのため、刑務所などに収容されている問題行動がある者は、ほとんど後者の概念に当てはまってしまう傾向があります。

た。このように医学的病理を取り扱うことは不適切であると考えられるようになり、現在、サイコパスを対象に積極的な研究が行われています。

サイコパス研究から見えてきたことは、彼らの病理の中核に情動障害があるということです。つまり、共感性の欠如などがあるために、その結果として様々な問題行動を引き起こすのです。

サイコパスの評価については、一般的に情動的/対人関係的側面(因子1)と問題行動的側面(因子2)にわけて考えます。中には、因子2の問題があまりみられず、社会適応が良い場合に、因子1の特徴を存分に發揮して、通常ではできないような思い切った決断を実行し、社会的に成功することもあります。彼らはホワイトカラー・サイコパスなどと呼ばれ、政治家や経営者に多いという報告もあります。

では、情動障害はどのようにして引き起こされるのでしょうか。最近の脳画像研究から明らかになってきたことは、扁桃体および前頭前皮質腹内側部の器質的・機能的異常と関連があるのではないか、ということです。これらはまだ仮説の段階ですが、今後の研究の蓄積によって明確になって

表1 Psychopathy Checklist-Revised (PCL-R)

因子1:対人/情動面	因子2:衝動的/反社会的行動面	因子3:どちらにも含まれない項目
1. 口達者/表面的な魅力	3. 刺激を求める/退屈しやすい	11. 放逸な性行動
2. 誇大的な自己価値観	9. 寄生的生活様式	17. 数多くの婚姻関係
4. 病的な虚言	10. 行動のコントロールができない	20. 多様多種な犯罪歴
5. 偽り騙す傾向/操作的(人を操る)	12. 幼少期の問題行動	
6. 良心の呵責・罪悪感の欠如	13. 現実的・長期的な目標の欠如	
7. 浅薄な感情	14. 衝動的	
8. 冷淡・共感性の欠如	15. 無責任	
16. 自分の行動に対して責任がとれない	18. 少年非行	
	19. 仮釈放の取消	

・それぞれの項目は、0~2点で評定、総計で0~40点に分布する

・成人で30点を超えるとサイコパスとされ、20点未満ではサイコパスから除外される

・子どものサイコパス傾向についての基準はあまり確立していないが、27点がカットオフ値

・正確な評点にはトレーニングを受けて資格を取る必要がある

(文献2より改変)

くるものと思われます。

長年、サイコパスを研究してきた筆者の思いは、彼らの治療法を早期に確立したいということです。診断をつけて脳の病理を解明するだけでは、単なる「レッテル貼り」になってしまふ恐れがあります。彼らを治療して、隔離から解き放ち、社会でしっかりと処遇する、そういう時代が来ることを切に期待しています。

【文献】

- 1) Cleckley H: The Mask of Sanity. 1st ed. Mosby, 1941.
- 2) Hare RD: Manual for the Hare Psychopathy Checklist-Revised. Multi-Health Systems, 1991.

【参考】

- ジェームズ・ブレア, 他: サイコパス—冷淡な脳. 福井裕輝, 訳. 星和書店, 2009.

【回答者】

福井裕輝 NPO法人性障害専門医療センター代表理事/
一般社団法人男女問題解決支援センター
代表理事